



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



2022年8月10日

上場会社名 リスクモンスター株式会社
 コード番号 3768 URL <https://www.riskmonster.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 藤本 太一
 (氏名) 吉田 麻紀
 TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	898	7.1	131	2.9	128	13.8	84	14.6
2022年3月期第1四半期	838	7.7	135	3.5	149	13.1	98	10.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 94百万円 (263.9%) 2022年3月期第1四半期 57百万円 (89.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.15	11.13
2022年3月期第1四半期	13.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	6,585	5,684	85.5	746.97
2022年3月期	6,940	5,894	84.1	774.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,627百万円 2022年3月期 5,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.50	14.50
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		14.75	14.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	6.8	690	3.0	700	1.0	465	1.3	61.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	7,546,922 株	2022年3月期	7,546,922 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	13,225 株	2022年3月期	6,468 株
------------	----------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	7,539,934 株	2022年3月期1Q	7,456,554 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.7「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の回復が期待されるものの、ウクライナ情勢による世界経済の影響や原材料価格の高止まり、また、直近では新型コロナウイルス感染症の再拡大のため、先行きは依然として不透明な状況で推移しており、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ2021年度から2025年度までの長期ビジョン「RismonG-30」、その達成に向けたマイルストーンである2021年4月にスタートした3ヶ年計画「第7次中期経営計画（2021～2023年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・中国において「日本企業情報RMナビ」を提供開始（4月）
- ・与信先モニタリングサービスのお見舞金を倍増、支払対象のRM格付を拡大（4月）
- ・書籍「取引先リスク管理Q&A（第2版）」を出版（5月）
- ・書籍「業種別審査ノートVol. 1（第3編）」を出版（5月）
- ・「反社APIサービス」提供開始（6月）
- ・システム構築・運用管理、ブロックチェーン関連技術サービスを提供するアイクラフト株式会社への資本参加（6月）
- ・11期連続の増配となる1株当たり14.5円の配当を実施（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査結果（4月）
 - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（5月）
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
 - 「隣の芝生（企業）は青い」調査結果（6月）
 - 「20年ぶりの円安進行に関する影響」調査結果（6月）
 - 「週休3日制に関する意識」調査結果（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「業務用機械器具製造業」（4月）
 - 「不動産賃貸・管理業」（5月）
 - 「医療業」（6月）

<連結業績について>

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		前年 同期比 (%)
	売上高 (千円)	対売上比 (%)	売上高 (千円)	対売上比 (%)	
売上高 (千円)	838,697	100.0	898,424	100.0	107.1
営業利益 (千円)	135,034	16.1	131,133	14.6	97.1
経常利益 (千円)	149,289	17.8	128,646	14.3	86.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	98,425	11.7	84,059	9.4	85.4

	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計 (注)	13,977	13,952	△25

(注) 会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

（売上高）

ビジネスポータルサイト事業、BPOサービス事業、その他サービスが順調であったこと等から、連結の売上高は898,424千円（前年同期比107.1%）となりました。

（利益）

サービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等の増加、与信管理サービス事業の売上高減少等により、営業利益は131,133千円（前年同期比97.1%）、経常利益は128,646千円（前年同期比86.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,059千円（前年同期比85.4%）となりました。

（会員数合計）

会員数は13,952会員と微減しました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

当社グループのセグメントを、1. 法人会員向けビジネスと2. その他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び ウ) 教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計（千円）	750,182	708,221	94.4
法人会員向けビジネス利益合計（千円）	160,052	157,902	98.7

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	13,430	13,515	85

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	439,584	408,385	92.9
コンサルティングサービス（千円）	99,235	79,731	80.3
売上高合計（千円）	538,820	488,117	90.6
セグメント利益（千円）	81,707	79,855	97.7

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス（注）	6,870	7,060	190

（注）サービス相互提携を行う会員を含む

当第1四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は488,117千円（前年同期比90.6%）、セグメント利益は79,855千円（前年同期比97.7%）となりました。

ASP・クラウドサービスは、入会数は予定通りに推移しているものの前期に比べ退会数が増加したこと、一部のサービスが終了になったこと、また、サービスリニューアルに伴うキャンペーンによる割引提供を実施したため、408,385千円（前年同期比92.9%）となりました。

コンサルティングサービスは、サブスク契約への移行によりASPクラウドサービスの利用に移行したこと、前期はオプションサービスの反社チェックサービスが好調で、また、取引先信用情報管理の短期間モニタリングサービス等の受注があったため、79,731千円（前年同期比80.3%）となりました。

セグメント利益は、独自データベースを主としたサービス移行に伴い企業情報取得に係る原価は減少したものの、売上高が減少したこと、また、サービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等が増加したため、微減となりました。

イ) ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）	140,517	148,311	105.5
その他（千円）	8,725	8,664	99.3
売上高合計（千円）	149,242	156,976	105.2
セグメント利益（千円）	61,056	64,402	105.5

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）	3,175 (143,593)	3,128 (147,009)	△47 (3,416)

（注）（ ）は外数でユーザー数

当第1四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）の売上高の合計は156,976千円（前年同期比105.2%）、セグメント利益は64,402千円（前年同期比105.5%）となりました。

大容量プランへ移行した会員が増加したため、グループウェアが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

セグメント利益につきましては、利益率の高いサービスの売上高が順調だったことに伴い、前年同期を上回りました。

ウ) 教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計（千円）	62,120	63,127	101.6
セグメント利益（千円）	17,288	13,644	78.9

会員数	前第1四半期 連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減数
教育関連	3,385	3,327	△58

当第1四半期連結累計期間の教育関連事業の売上高は63,127千円（前年同期比101.6%）、セグメント利益は13,644千円（前年同期比78.9%）となりました。

従量制サービスの会員数が減少したものの、定額制サービスの会員数が増加し利用料が積み上がったため、売上高は前年同期を上回りました。

セグメント利益につきましては、提供コンテンツ増加による原価が増加したため、前年同期を下回りました。

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ) BPOサービス事業及び オ) その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、437会員となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	151,324	275,632	182.1
その他ビジネス損益合計（千円）（△は損失）	△2,781	15,699	—

その他ビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

エ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計（千円）	109,479	207,592	189.6
セグメント利益（千円）	5,540	14,607	263.7

当第1四半期連結累計期間のBPOサービス事業の売上高は207,592千円（前年同期比189.6%）、セグメント利益は14,607千円（前年同期比263.7%）となりました。

株式会社シップスを前第2四半期末に連結子会社とし、前第3四半期から同社の損益を取り込んでおり、また、与信管理サービス事業の独自データベース増強などグループのコスト削減に貢献するサービス提供が増加したことから、売上高は前年同期を大きく上回りました。それに伴い、セグメント利益も前年同期を大きく上回りました。

オ) その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	41,845	68,039	162.6
セグメント損益（千円）（△は損失）	△8,322	1,091	—

当第1四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は68,039千円（前年同期比162.6%）、セグメント利益は1,091千円（前年同期はセグメント損失8,322千円）となりました。

グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、スポットのコンサルティングサービスを受注したこと、また、グループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

セグメント損益につきましては、売上高増加に伴い黒字化しました。

（2）財政状態に関する説明

		前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
	流動資産（千円）	2,734,080	2,626,379	△107,700
	固定資産（千円）	4,205,973	3,958,652	△247,321
資産合計（千円）		6,940,053	6,585,031	△355,022
	流動負債（千円）	579,424	506,226	△73,198
	固定負債（千円）	465,800	394,449	△71,351
負債合計（千円）		1,045,225	900,675	△144,550
純資産（千円）		5,894,827	5,684,356	△210,471
負債純資産合計（千円）		6,940,053	6,585,031	△355,022

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ107,700千円減少し、2,626,379千円となりました。これは主に、税金や配当金の支払い等により現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ247,321千円減少し、3,958,652千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ355,022千円減少し、6,585,031千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ73,198千円減少し506,226千円となりました。これは主に、未払金及び未払法人税等が減少したことによるものです。固定負債は71,351千円減少し394,449千円となりました。これは主に、繰延税金負債が減少したことによるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ144,550千円減少し、900,675千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末と比べ210,471千円減少し、5,684,356千円となりました。また、自己資本比率は85.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響については、ウィズコロナの社会に移行していくことによって経済活動が緩やかに回復していくことを前提としております。また、当社グループの売上の7割以上が法人会員向けビジネスとなっており、下振れリスクが比較的低いことを前提に考えております。

株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消を理由として与信管理サービス事業の退会数が前期に比べ増加いたしました。退会数は第2四半期までは高止まりで推移することが予測されますが、第3四半期以降は収束するものと見込んでおり、新規の入会数は予定通り推移しております。また、一部のサービスが終了になったこと、リニューアルキャンペーンとして期間限定で一部サービスの割引提供もあることから売上を押し下げているものの、企業の信用力を表す指標「RM格付」及び格付情報と同時に取得できる反社チェックヒートマップの利用件数は堅調に推移しております。

今後も引き続き独自データベースのさらなる拡充のために積極的な投資の継続、会員企業の業務効率化やDX推進に貢献するサービスを提供する方針であります。

業務提携解消により、独自データベースの活用や新たなサービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、長期ビジョン「RismonG-30」（2021～2025年度）で掲げた独自データベースを活用した成長戦略を推進すべく、今後はより積極的なサービス展開、営業活動、業務提携を実現し、当社グループの業績及び企業価値向上につなげてまいります。

これらを踏まえ、当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高4,000百万円（前連結会計年度比106.8%）、営業利益690百万円（前連結会計年度比103.0%）、経常利益700百万円（前連結会計年度比101.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益465百万円（前連結会計年度比101.3%）と予想しております。

現時点におきましては、連結業績予想の変更はございませんが、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2023年3月期予想	4,000	690	700	465
2022年3月期実績	3,745	669	693	459
前連結会計年度比（%）	106.8	103.0	101.0	101.3

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,153,476	2,045,270
受取手形、売掛金及び契約資産	488,258	460,886
原材料及び貯蔵品	10,776	15,210
その他	82,247	105,608
貸倒引当金	△678	△596
流動資産合計	2,734,080	2,626,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	586,364	586,431
減価償却累計額	△162,279	△167,113
建物及び構築物（純額）	424,084	419,318
工具、器具及び備品	373,399	380,697
減価償却累計額	△298,805	△306,789
工具、器具及び備品（純額）	74,593	73,907
土地	568,352	568,352
リース資産	4,713	4,713
減価償却累計額	△2,029	△2,225
リース資産（純額）	2,684	2,487
有形固定資産合計	1,069,714	1,064,066
無形固定資産		
のれん	52,375	50,997
ソフトウェア	931,916	963,849
その他	420,663	462,433
無形固定資産合計	1,404,955	1,477,280
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,486	1,330,697
その他	91,154	86,945
貸倒引当金	△338	△338
投資その他の資産合計	1,731,303	1,417,304
固定資産合計	4,205,973	3,958,652
資産合計	6,940,053	6,585,031

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	308,249	221,001
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	79,048	33,851
賞与引当金	1,596	1,394
その他	130,369	189,818
流動負債合計	579,424	506,226
固定負債		
長期借入金	95,320	87,780
退職給付に係る負債	26,571	29,525
その他の引当金	14,769	16,648
その他	329,140	260,495
固定負債合計	465,800	394,449
負債合計	1,045,225	900,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	795,514	796,318
利益剰余金	3,054,963	3,029,686
自己株式	△4,494	△10,913
株主資本合計	5,001,976	4,971,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	815,376	633,490
為替換算調整勘定	20,172	22,858
その他の包括利益累計額合計	835,548	656,349
新株予約権	286	286
非支配株主持分	57,016	56,635
純資産合計	5,894,827	5,684,356
負債純資産合計	6,940,053	6,585,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	838,697	898,424
売上原価	386,993	418,405
売上総利益	451,704	480,018
販売費及び一般管理費	316,670	348,884
営業利益	135,034	131,133
営業外収益		
受取利息	198	21
受取配当金	8,910	7,658
投資事業組合運用益	6,637	—
その他	358	600
営業外収益合計	16,104	8,281
営業外費用		
支払利息	568	409
投資事業組合運用損	—	1,372
為替差損	522	2,273
コミットメントフィー	757	698
支払手数料	—	6,014
その他	—	0
営業外費用合計	1,849	10,768
経常利益	149,289	128,646
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2,621
特別損失合計	—	2,621
税金等調整前四半期純利益	149,289	126,025
法人税、住民税及び事業税	17,899	29,673
法人税等調整額	33,313	12,763
法人税等合計	51,213	42,436
四半期純利益	98,076	83,588
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△348	△471
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,425	84,059

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	98,076	83,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,936	△181,839
為替換算調整勘定	663	3,535
その他の包括利益合計	△40,273	△178,304
四半期包括利益	57,802	△94,716
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,870	△95,140
非支配株主に係る四半期包括利益	△67	423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

無形固定資産のその他に含まれる独自データベースコンテンツは、従来、耐用年数を3年としておりましたが、与信管理サービス事業のサービスリニューアルに伴い、耐用年数を見直し、当第1四半期連結会計期間より5年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,890千円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイ ト(グルー プウェアサ ービス等)	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	438,698	139,935	—	—	578,633	—	578,633	—	578,633
コンサルティング サービス	97,930	—	—	—	97,930	—	97,930	—	97,930
その他	—	8,665	58,874	83,734	151,273	10,860	162,133	—	162,133
顧客との契約から生じ る収益	536,628	148,600	58,874	83,734	827,837	10,860	838,697	—	838,697
外部顧客への売上高	536,628	148,600	58,874	83,734	827,837	10,860	838,697	—	838,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,191	642	3,246	25,745	31,825	30,985	62,810	△62,810	—
計	538,820	149,242	62,120	109,479	859,662	41,845	901,507	△62,810	838,697
セグメント利益又は損失 (△)	81,707	61,056	17,288	5,540	165,592	△8,322	157,270	△22,236	135,034

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネスポ ータルサイ ト（グル ープウェアサ ービス等）	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	407,345	147,709	—	—	555,054	—	555,054	—	555,054
コンサルティング サービス	78,426	—	—	—	78,426	—	78,426	—	78,426
その他	—	8,604	61,693	176,122	246,421	18,521	264,942	—	264,942
顧客との契約から生じ る収益	485,772	156,314	61,693	176,122	879,902	18,521	898,424	—	898,424
外部顧客への売上高	485,772	156,314	61,693	176,122	879,902	18,521	898,424	—	898,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,345	662	1,433	31,470	35,911	49,518	85,429	△85,429	—
計	488,117	156,976	63,127	207,592	915,814	68,039	983,854	△85,429	898,424
セグメント利益	79,855	64,402	13,644	14,607	172,509	1,091	173,601	△42,467	131,133

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	△71,587	167,053
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△119,843	△160,361
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△110,124	△114,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,723	49
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△298,831	△108,180
現金及び現金同等物の期首残高	2,443,729	2,052,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,144,898	1,944,046

前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 149,289 減価償却費 94,564 未払金の減少額 △140,113 法人税等の支払額 △184,924 ※2 無形固定資産の取得による支出 △117,712 ※3 配当金の支払額 △101,714	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 126,025 減価償却費 122,312 未払金の減少額 △72,640 法人税等の支払額 △68,320 ※2 無形固定資産の取得による支出 △190,104 投資有価証券の売却による収入 47,424 ※3 配当金の支払額 △106,551